

福岡県の中小企業対策に関する提言・要望

平成26年12月1日

福岡県商工会議所連合会

わが国経済は一部に明るさが見られるものの、多くの地域中小企業においては、仕入れや電気料金、人件費などのコスト増に加え、人手不足の影響が広がっており、景気回復の実感はまだら模様である。地域全体が活力を取り戻すには、地域経済や雇用を支える中小企業・小規模事業者の活力増進が不可欠であり、そうした事業者に光を当てたきめ細かな施策を迅速果断に実行することが必要である。

また、「地域の活性化」は中小企業・小規模事業者の経営と表裏一体である。「地域の活性化」を図るには、地域の資源を有効に活用し、集客交流など国内外から需要を呼び込むとともに、まちづくりの推進、人流・物流を促進する産業インフラ整備など、中小企業・小規模事業者が地域経済の原動力として、遺憾なくその力を発揮できるよう取り組むことが重要である。

福岡県においては、陸・海・空のネットワーク、自動車・水素・環境・バイオなどの成長分野の産業集積など潜在力を有しており、こうしたポテンシャルを大いに発揮することが期待される。

かかる観点から、県内 19 商工会議所で構成する福岡県商工会議所連合会は、以下の事項の実現を強く要望する。

I. 地域経済の担い手である中小企業の持続的な発展に向けて

1 商工会議所を中核とした中小企業・小規模事業者の支援体制の整備

経済環境が厳しさを増す中、中小企業・小規模事業者の経営課題は複雑化・専門化が進み、より一層きめ細かな支援が求められている。また、本年6月施行の「小規模企業振興基本法」「小規模支援法」において、地域経済や雇用を担う小規模企業を中心とした新たな施策体系の構築が必要とされ、国および地方公共団体の責務が明記されるとともに、商工会議所が支援・連携の中核に位置づけられた。

小規模事業経営支援事業費補助金は地域経済と雇用を守るセーフティネットであり、十分かつ安定的な実施体制と予算を確保することはもとより、国・県・市町村の施策との相乗効果が発揮されるよう商工会議所を中核として施策を展開されたい。

2 中小企業・小規模事業者のイノベーションを後押しする施策の展開

(1) 創業支援の拡充

創業は新たな財・サービスの提供により需要を喚起するとともに、雇用の創出効果が高い。地域の商工業者が集う商工会議所を拠点に、創業計画やマーケティング、広告、資金調達などの基本知識を習得する創業塾の開催、専門家派遣、創業資金の斡旋、展示会出展や販路拡大、既存支援施策の優先的利用など、創業準備段階から事業が軌道に乗るまで段階に応じたきめ細かな支援を一貫して行う施策を講じられたい。

あわせて、創業希望者を増やす取り組みが重要である。創業することを将来の職業選択の一つとして考えられるようにするための、初等教育段階からの起業家教育や起業マインド醸成について取り組まれたい。

(2) 経営革新支援の拡充

商工会議所が行う経営革新のための講座、専門家による個別支援などの取組みに対し積極的に支援されたい。あわせて、経営革新計画承認企業に対し、助成金、融資条件の優遇措置などの支援メニューの充実を図られたい。

(3) 高度専門的な相談対応のための専門家相談・派遣の拡充

中小企業は経営・営業・生産・技術など多くの問題を抱え、その内容も高度化・複雑化・多様化している。さらに、中小企業の経営発達を図るには、中小企業の経営実態に通じた経営指導員が、各分野の専門性を有する支援機関とのネットワークを活用しながら、総合的かつ継続的な支援を行うことが肝要である。

ついては、専門家派遣事業を拡充し、地域における中小企業・小規模事業者の支援体制の強化を図られたい。

(4) 中小企業の販路拡大支援の拡充

経営資源が限られている多くの中小企業は販路開拓に十分な人材を確保できず、営業活動も取引先や知人の紹介など限られたルートに依るところが大きい。中小企業においては、知名度の向上や人脈の拡大を図るため、商工会議所が実施する大手事業者等との商談会・展示会、ホームページの活用などが有効な取り組みであることから、引き続き、こうした販路拡大を支援する施策を強力に後押しされたい。

また、国内需要の減退が危惧される中、新興国をはじめとした海外の需要を積極的に獲得することが肝要である。福岡県においては、「アジアビジネスセンター」を設立し、海外展開に関するワンストップ支援を展開しているが、知識・情報・資金・ノウハウが不足しているために海外展開を躊躇する企業が多い。中小企業による海外へのビジネス展開をサポートし継続的な取引ができるよう、専門家による個別相談、海外バイヤー招聘による商談会の開催、展示会・見本市への出展支援、海外マーケットや商習慣・規制に関する現地情報の提供などについて強化されたい。

(5) 自動車産業への参入支援

自動車産業は裾野が広く、完成車メーカーの拠点化は、関連部品メーカーの進出や工場拡張の動きを活発化させるとともに、雇用創出などの効果も期待される。福岡県が中心に進める「北部九州自動車産業アジア先進拠点推進構想」が進展する中、北九州地域のみならず筑後地域においても着実に自動車産業の集積が進んでいる。

ものづくりの地場企業育成のため、研究開発や技術力向上ならびに自動車産業とのマッチングなど、さらなる支援を図られたい。特に、筑後地域においては、地場企業の多くがメーカーやサプライヤー企業との取引を望んでいるものの、自動車産業への参入のハードルが高く、実際に取引を開始できた例は多くないことから、重点的に取り組まされたい。

(6) 事業承継・引き継ぎ支援の拡充

経営者の高齢化が進む一方、事業承継の準備を進めている経営者は少なく、事業承継の相手がどうしても見つからない場合や事業の継続性が見込めない場合、やむを得ず廃業を余儀なくされている。

計画的な事業承継・引き継ぎを促進するため、商工会議所が行う事業承継・引き継ぎのための講座、専門家による個別支援などの取り組みに対し積極的に支援されたい。あわせて、事業承継企業に対する、経営の承継を円滑に行うための融資制度等、支援メニューを創設されたい。

3 中小企業・小規模事業者の経営体力強化のための施策

(1) 消費税引上げに伴う価格転嫁対策への万全な体制整備

本年4月の消費税引上げにあたり、これまでにない価格転嫁対策が講じられているが、依然として増税分の一部または全部を価格転嫁できていない事業者も多くいる。

今後10%への引上げが予定されており、県においては、消費税の転嫁対策特別措置法に基づき、事業者への指導・助言、県民に対する広報などの体制整備に取り組まされたい。

(2) 中小企業金融対策の一層の拡充

景況感の改善が見られるものの、中小企業においては原材料価格や電気代の上昇が経営を圧迫するなど依然厳しい環境にある。こうした中小企業が苦境に陥ることがないように、万全かつ円滑・安定的な資金供給が図られるよう講じられたい。

なお、小規模事業者等の経営改善を図るうえでは、継続的指導により経営実態に通じることができるとして、商工会議所・商工会等を受付機関とすることが肝要であり、特段の配慮を講じられたい。

(3) 中小企業の官公需受注機会の確保

中小企業の官公需受注への取り組みを継続し、引き続き十分な事業枠の確保と契約拡大に努められたい。また、公共工事や物品・サービスの発注に際して地場企業へ優先発注するとともに、原材料・燃料の高騰や消費税率アップを反映した適正価格での発注に十分な配慮されたい。

(4) 雇用確保に向けた支援

少子高齢化に加え、景況感の改善が進んだことから労働力不足が顕著になっている。今後さらに、高齢化・人口減少、地方から東京や中核都市への人口流出の進展により深刻化しかねないことから、若年者や女性、高齢者など多様な人材の確保・活用が必要である。

しかし、中小企業においては、知名度の低さなどから、求める人材や必要な能力を持った応募者が少ないといった現状がある。中小企業と学生・学校を結び付け、学生が中小企業の魅力に触れる機会の提供など、若年者の確保支援を強力に推進されたい。また、仕事と子育ての両立支援に取り組む中小企業にインセンティブを付与したり、先進事例を周知するなど女性の活躍を推進されたい。

あわせて、グローバル人材の育成・活用の観点から、留学生の受入れ拡大とともに、福岡で就職を希望する優秀な留学生の確保や留学生が地元で定着できる環境づくりを図られたい。

Ⅱ. 地域の活力を引き出し、地域の活性化を

1 地域資源を活かした産業の振興

(1) 観光の振興

①「黒田官兵衛プロジェクト」推進による観光客の誘致

大河ドラマ「軍師官兵衛」放映を千載一遇の好機として、より強力に観光振興を推進していく必要がある。官民連携したPR・イベントのほか、地域資源の掘り起こし、観光ルート・旅行商品の企画など、観光客誘致に向けた取組みを引き続き推進されたい。

②世界遺産登録への取組みの推進

九州の文化・産業資産を活用した「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」がユネスコに推薦されており、平成27年度の世界文化遺産登録に向けて強力に推進されたい。

国内暫定リストに入っている「宗像・沖ノ島と関連遺産群」についても、観光振興に寄与するものであり、世界遺産登録に向けて推進されたい。

③産業観光の振興

歴史的・文化的価値のある産業文化財（産業遺産、工場遺構、工場・工房など）を観光資源とする「産業観光」は、全国的な広がりを見せている。

福岡県においては、石炭産業や鉄鋼業など近代日本の工業化以降に至る様々な産業遺産からなる「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」のほか、自動車・ロボット等の先端産業、環境関連産業など多くの資源を有している。これらを観光資源として活用し、研修旅行の受け入れのほか、既存の観光資源と連携して観光情報を国内外に発信するなど、産業観光を着地型のニューツーリズムとして推進されたい。

(2) クールジャパン・フクオカの推進

食やファッション分野では地域の優れたポテンシャルを最大限に活かし、企業・団体、学校、行政などが一体となって関連産業の振興や地域の賑わい創出に取り組み、成果をあげている。福岡県の持つ、アニメ・マンガ・ゲーム等のコンテンツ、ファッション等の若者文化、観光地としての魅力を広く海外に発信されたい。

また、食分野において、「Food EXPO Kyushu」を継続して開催し、食の都としてのブランド構築を図られたい。ファッション分野では、「福岡アジアコレクション」「ファッションウィーク福岡」開催を通じた消費拡大、日本のファッションに関心が高いアジアの若者をターゲットとした海外プロモーションなどの取組みに対して支援されたい。

2 魅力と活力に溢れる街づくりの実現に向けて

(1) プレミアム付き地域商品券発行支援を通じた消費喚起・拡大

「プレミアム付き地域商品券による地域経済活性化支援事業」は、多くの商工会議所・商工会・商店街における地域商品券の発行を支え、消費の喚起や商店街等における集客力向上など、地域経済の活性化に大きく寄与している。

本年4月以降、消費税率引上げによる影響のほか、円安による原材料・エネルギーコスト上昇、夏場の天候不順などの影響を大きく受け、中小企業は依然として厳しい経営環境にさ

らされている。地域の商店街等における影響を最小限に止めるためにも、地域商品券発行について拡充・継続されたい。

(2) 賑わいのある街づくりの推進

①中心市街地活性化に向けた支援

多くの地域では、中心市街地の停滞や都市機能の拡散、商店街等の地域商業の低迷等が続いている。商店街や大型店等のさまざまな商業・集客施設、公共交通等の整備を促進することにより、各地の中心市街地の再生を加速することが求められる。

各地商工会議所は、福岡県行きたくなる商店街づくり事業などを活用しながら、地域の実情に応じて賑わい創出や地域商業の再生に向けた活動を推進しているが、各地域とも財政基盤が脆弱であり、活性化事業を推進するには厳しい状況であることから、こうした取組みに対して積極的に支援されたい。

②安全・安心な街づくりの推進

「治安なくして経済の発展はない」との認識に立ち、飲酒運転撲滅や暴力団排除などの取組みを一層強化し、安全・安心な街づくりに努められたい。

3 東京オリンピック・パラリンピック効果による活力を地方に

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会は、さらなるスポーツの振興や国際相互理解の促進はもとより、経済波及効果が東京都で約1兆6,700億円、その他の地域で1兆2,900億円と日本全体が大きく飛躍する起爆剤となる。

こうした好機を生かし、福岡県への事前合宿の誘致や訪日客の誘導をはじめ、ハード・ソフト両面にわたる施策により、オリンピック・パラリンピック開催による効果を地方経済の活性化に繋がるよう取り組まれたい。

4 各地域における要望事項

(1) 筑豊地域

①筑豊地域の産炭地域振興対策

- 財源の確保
 - 産炭地域特有の財政需要に配慮した地方交付税等の安定確保
 - 石炭関連公共事業に対する財政支援
 - 交通や生活基盤の整備に対する優先配分
- 石炭後遺症の解消
 - 残存鉱害の復旧事業に係る経過措置
 - ボタ山等を活用した地域開発事業の促進
- 旧特定地域開発就労事業従事者暫定就労事業終息に伴う新たな雇用対策事業の創設
 - 中高年齢者の雇用環境が整っていない地域を対象に、これまでの失業対策事業に代わる新たな雇用対策事業の創設
- 後藤寺線の電化の早期実現

②国道201号八木山バイパスならびに飯塚庄内田川バイパスの4車線化の整備促進

福岡～筑豊～行橋を結ぶ国道201号は筑豊地域の産業経済を支える重要な幹線道路で、その中間に位置し、有料道路八木山バイパスおよび田川バイパスと直結する飯塚庄内田川バイパスは平成21年3月に暫定2車線で全線開通した。

国道201号八木山バイパスは、本年10月に一般国道となったことから、平成22～23年にかけて実施された無料化社会実験時と同様、今後、通行料の大幅な増加や周辺道路の渋滞、筑豊烏尾トンネルでの交通事故多発などが多発しかねず、最優先での対策が急務である。

産業・経済の発展と生活文化の向上には、道路網の整備による交通の円滑化が不可欠であり、筑豊地域の浮揚を図るうえでも、国道201号八木山バイパスならびに飯塚庄内田川バイパスの全線4車線化の早期整備を図りたい。

(2) 筑後地域

①筑後七国の観光振興事業への支援

筑後5市2町（筑後市・柳川市・大川市・八女市・みやま市・広川町・大木町）の商工会議所等では「筑後七国商工連合会」を設立し、「筑後七国」を統一の観光コンセプトに、広域モデル観光ルートの開発や観光情報の発信などに取り組んでいる。

本年度は県・市の支援により「筑後七国観光ビジョン策定事業」に取り組んでおり、今後も広域の観光振興や経済交流を図る取組みに対して、継続的に支援されたい。

②県南商工会議所広域連携事業の継続支援

県南7商工会議所は、中小企業・小規模事業者のニーズが高い販路拡大支援のため広域連携事業として「ちくごバイヤー求評会」を実施し効果を上げている。また、地元に本店を置く金融機関とも連携し、昨年から「福岡県南地域中小企業支援プラットフォーム」を構成し、中小企業・小規模事業者の課題解決を積極的に支援している。

こうした県南7商工会議所の広域連携による中小企業の支援の取り組みは、全国でも珍しく高く評価を得ているところである。今後も、これらの取り組みを継続的に支援されるとともに、広域連携事業の機能拡充についてもさらに支援されたい。

③地場企業の自動車産業への参入支援（再掲）

④福岡バイオバレープロジェクトの推進

県南の中核都市である久留米市を中心にバイオ技術を核とした新産業の創出や関連企業・研究機関の一大集積を形成する「福岡バイオバレープロジェクト」が産学官の連携により推進されている。このプロジェクトを更に推進していくため、県南の地場企業の参入、育成についても積極的に支援されたい。

⑤三井三池炭鉱閉山後の産炭地域振興対策

○ 産炭地域振興のための主要プロジェクトの優先採択と財政支援

- 環境リサイクル産業の推進
- 三池港港湾整備の促進
- 地域高規格道路「有明海沿岸道路」の整備促進
- 主要地方道南関大牟田北線の早期整備

- 主要地方道大牟田高田線バイパスの早期整備

Ⅲ. 地域の潜在力を最大限に発揮できる基盤整備を

1 真に必要なインフラの整備

産業振興や地域活性化に資する公共投資は、今後の成長を加速させる原動力となるもので、地域の活力が創出されるよう、地域の実情を勘案して進めていくべきである。特に、道路・鉄道・港湾・空港などの重要なインフラについては、国内外との人・モノ・情報の交流を活性化させ、競争力強化やビジネスチャンス創出などに繋がると同時に、災害に強い社会を構築し、地震や河川氾濫など大規模災害に備えが不可欠である。

については、こうした公共事業予算を確保し、真に必要なインフラの整備と大規模災害への備えに向けた取組みを積極的に推進されたい。

2 社会資本の整備促進

(1) 空港の整備促進

九州・西日本地域の中核的な拠点空港である福岡空港は、円滑に離着陸できる容量を超え、離発着の遅延が常態化しており、増大する航空需要に十分に対応できるよう機能充実が求められている。また、北九州空港は、北部九州における航空需要の混雑緩和だけでなく、港湾機能も有した 24 時間運用可能な海上空港の強みと拡張性の高い空港島未利用地を活かして航空機産業を誘致するなど、地域の振興・活性化に寄与する。

空港は、国内外との交流によって地域の潜在能力を引き出し、競争力を高めるとともに、大きな経済波及効果をもたらすことから、早期整備を図られたい。

①福岡空港の整備促進

- 滑走路増設について、環境アセスメント完了後の速やかな事業化
- 平行誘導路二重化の早期完成
- C I Q機関の開始時刻の繰上げや増員などによる機能拡充

②北九州空港の機能拡充および隣接地における新産業の誘致促進、アクセスの整備

- 北九州空港の機能拡充
 - 大型貨物機による離着陸確保のための滑走路 3,000m化の早期実現
 - 貨物ターミナル地区の拡張及びエプロン、スポット等整備の早期実現
 - 早朝・深夜便の誘致による路線の拡充
- 北九州空港隣接地における新産業の誘致促進
 - 航空機産業の誘致
- 北九州空港へのアクセス道路の整備および軌道系アクセスの検討

(2) 港湾の整備促進

躍進するアジアの成長力を取り込むため、各港湾の整備に向けた取組みを推進されたい。

①博多港の整備促進

- 国際海上コンテナ取扱量の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、新たなコンテナターミナルの早急な整備
- 中央ふ頭における岸壁やボーディングブリッジの早期整備

②北九州港の整備促進

- 新門司航路拡幅への支援
- 日・中・韓三国間シャーシ相互乗り入れのための支援
- 太刀浦コンテナターミナル機能強化への支援
- 門司航路における水深13mの早期確保
- 北九州港における岸壁、航路、護岸等の整備促進
- 北九州港へのアクセス道路の整備

③苅田港の整備促進

- 本港航路の拡幅（幅 250mを 350mへ）および増深（水深13mへ）
- 新松山地区の港湾整備

④三池港の整備促進

- 港湾整備事業の必要予算の確実な確保と早期整備促進（再掲）

（3）幹線道路等の早期整備

① 東九州自動車道の整備

東九州自動車道については、北九州～宮崎間では整備が前倒しで進められているが、ミッシングリンク（未事業化区間）の存在が東九州地域の一体的な発展を阻害し、また大規模災害時に「命の道」としての機能を果たすことも不可能である。

東九州自動車道の早期整備について、引き続き積極的に推進されたい。特に下記事項について配慮されたい。

- 椎田南～宇佐間の早期供用開始

②関門海峡道路の早期実現

関門トンネルおよび関門橋は本州と九州を繋ぐ物流・人流の大動脈で、災害等で遮断された場合の経済損失額が年間約 14 兆円とされるなど、極めて重要な道路である。したがって、関門地域の円滑な交通に資する新たな広域ネットワーク機能や災害時におけるリダンダンシーを確保できる関門海峡道路は必要不可欠である。

関門地域の一体的な発展と九州と本州を結ぶ広域道路ネットワークの要としての役割を担う関門海峡道路の早期実現を図られたい。

③福岡都市高速道路の自動車専用道路アイランドシティ線の早期整備

福岡市のアイランドシティにおいては、コンテナターミナルの機能強化が進められるとともに物流施設の立地が進んでいる。さらに、来年度には新青果市場の開場が予定され、九州全域から物流車両が飛躍的に増加することが見込まれている。

拡大する交通需要と都市機能強化に対応するためには、福岡都市圏のみならず、福岡県・九州全域とのネットワークを形成する広域幹線道路として、福岡都市高速道路からアイランドシティへの自動車専用道路延伸が必要であり、早期整備を図られたい。

④主要幹線道路等の整備促進

幹線道路は、地域間連携の強化、リダンダンシーの確保、地域振興及び活性化を図るうえで最も重要なインフラであり、また幹線道路と一体となって交通体系を形成する日常生活に密着した国道等の整備も不可欠である。早期整備に向けて推進されたい。

- 地域高規格道路
 - 有明海沿岸道路（大牟田市～佐賀県鹿島市）の早期整備
- 一般国道
 - 国道3号黒崎バイパスの整備促進
 - 国道3号鳥栖久留米道路の早期整備
 - 国道10号バイパス（豊前拡幅）の整備促進
 - 国道201号（北九州空港へのアクセス道路）の整備促進
 - 国道201号八木山バイパスならびに飯塚庄内田川バイパスの4車線化の整備促進（再掲）
 - 国道210号浮羽バイパスの早期整備
 - 国道322号バイパス（八丁峠道路、トンネル）の早期整備
 - 国道385号三橋大川バイパスの早期整備
 - 九州縦貫自動車道・みやま柳川ICへの国道443号（山川バイパス）の早期整備
- 主要地方道
 - 福岡直方線の事業促進
 - 飯塚福岡線の事業促進
 - 北九州・若宮幹線道路（仮称）の整備促進
 - 南関大牟田北線の早期整備（再掲）
 - 大牟田高田線バイパスの早期整備（再掲）
 - 大牟田川副線バイパスの早期整備
 - 県道28号直方行橋線の未開通区間の早期開通
- その他
 - 都市計画道路6号線（門司区新門司三丁目～小倉南区大字朽網）の早期整備
 - 都市計画道路戸畑枝光線（旧戸畑大谷線）の早期整備
 - 筑後川堤防道路の早期整備

⑤北九州都市高速道路利用時の「ETC割引率拡大」「社会実験の再実施」

北九州都市高速道路では、平成20年11月からETCの運用が開始され、従来の回数通行券は平成22年7月末で利用停止になったが、その結果、ETC割引は従来の回数通行券利用者にとっては実質的に値上げとなり、特に利用頻度の高い運輸事業者に大きな負担増を強いものである。また、利用者の増加を目的とした社会実験が行われているものの運輸事業者にとっては利便性が悪く、その声を反映しているとは言い難い。

ついては、地域経済の活力維持の観点からも、運輸事業者の声を踏まえた社会実験を実施するとともにETC割引率の更なる拡大により一層の利便性の向上を図られたい。

(4) 祓川水系伊良原ダムの早期完成

県北東部に位置する祓川水系伊良原ダムは、洪水調節、既得用水の安定化、河川環境の保全、水道用水の供給を目的とした総貯水容量2,870万 m^3 、県内2番目の規模を持つ多目的重力式コンクリートダムで、平成29年を完成目標に建設が進められている。関係地域は、田川地区1市3町（田川市、糸田町、川崎町、福智町）、京築地区2市5町（行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町）の計11市町にわたり、完成時には日量37,000 m^3 の水道用水の供給が受けられる予定である。

祓川はこれまで洪水に見舞われたり、渇水による水不足をきたすなど気象状況の影響を大きく受けてきた。同ダム建設はこうした問題を改善し、地域の生活環境の安定と河川環境の保全に効果を発揮するものであり、一刻も早いダムの完成について取り組まれない。

以上

平成26年12月1日
福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
福岡県商工会議所連合会
会長 末吉 紀雄

道路要望に関する要望個所(区間)進捗状況表

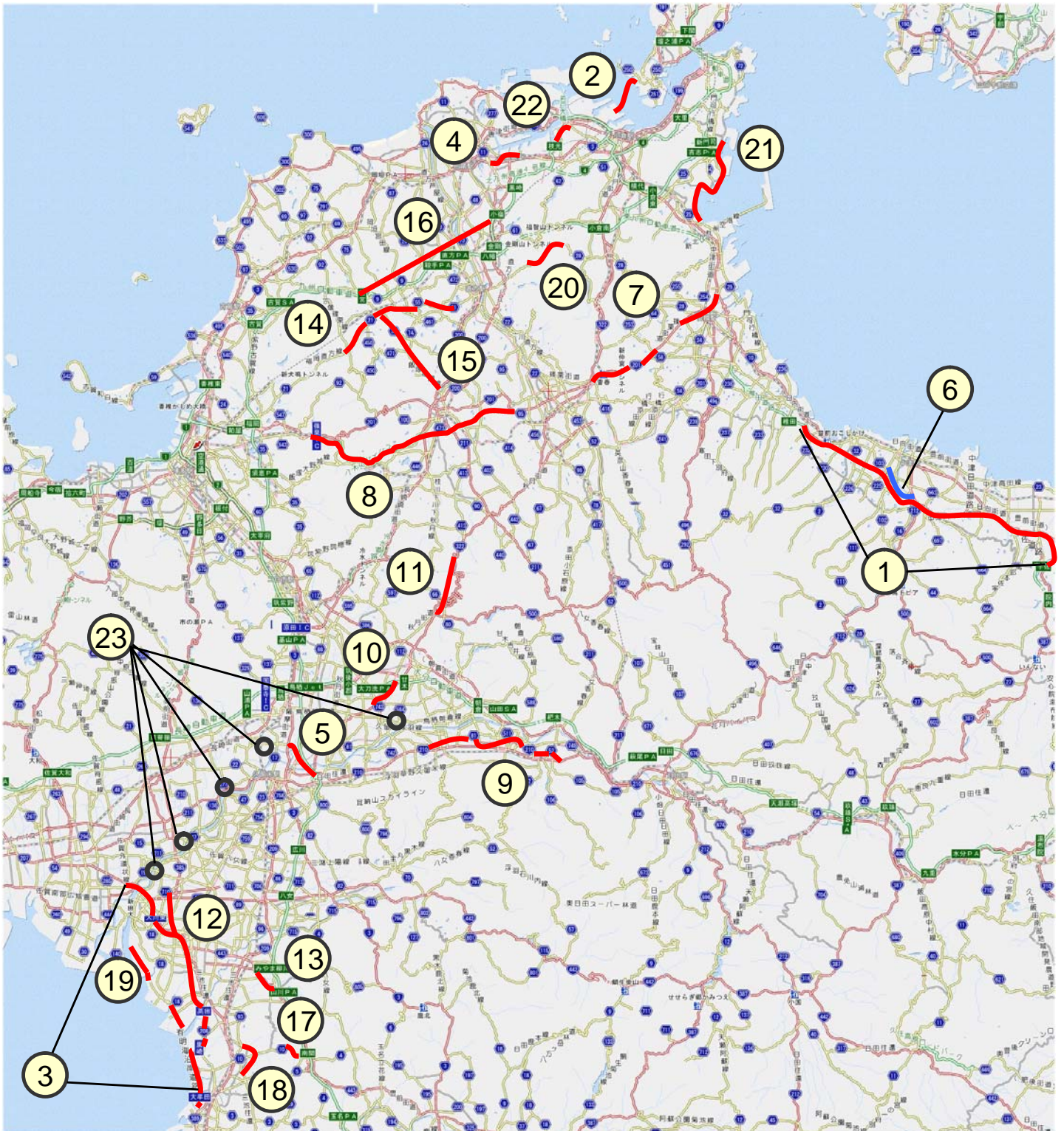
福岡県商工会議所連合会

※工事進捗率は平成26年8月末現在に於ける独自調査による。

要望道路	提案会議所	要望個所(区間)	要望内容	工事進捗率%(進捗状況)			備考
				24年度	25年度	26年度(見込み)	
1. 高規格幹線道路							
① 東九州自動車道 (築上町～宇佐市間)	北九州、豊前、行橋、菊田	推田南IC(仮称)～県境 (14.8km)	早期供用開始	用地買収:97%	用地買収:97%	用地買収:100%	*用地買収、埋蔵文化財調査の進捗を表記。工事進捗率も併記。 *東九州自動車道建設促進協議会・東九州自動車道福岡県建設推進会議により要望活動中
				埋蔵文化財調査:95%	埋蔵文化財調査:97%	埋蔵文化財調査:98%	
				上ノ河内川橋工事(0.6km) 進捗率約74%	上ノ河内川橋工事(0.6km) しゅん功	上ノ河内川橋工事(0.6km) しゅん功	
				舟入川橋工事(1.5km) しゅん功	舟入川橋工事(1.5km) しゅん功	舟入川橋工事(1.5km) しゅん功	
				豊前工事(5.8km) 進捗率約46%	豊前工事(5.8km) 進捗率約85%	豊前工事(5.8km) しゅん功	
				上毛西工事(3.6km) 進捗率約58%	上毛西工事(3.6km) 進捗率約92%	上毛西工事(3.6km) しゅん功	
上毛東工事(2.8km) 進捗率約32%	上毛東工事(2.8km) 進捗率約63%	上毛東工事(2.8km) しゅん功					
② 関門海峡道路	北九州	下関市彦島迫町～北九州市小倉北区西港町付近 約6km(海峡部約2.5～3km)	早期実現	—	—	—	*関門海峡道路建設促進協議会・関門海峡道路整備促進期成同盟会により要望中
2. 地域高規格道路							
③ 有明海沿岸道路 (大牟田市～鹿島市)	県南7会議所	①大牟田高田道路(大牟田市新港町～みやま市高田町黒崎開)(8.6km) ②高田大和バイパス(みやま市高田町黒崎開～柳川市大和町徳益)(8.9km) ③大川バイパス(柳川市大和町徳益～大川市大野島)(10.0km) ④大川佐賀バイパス(大川市大野島～佐賀市嘉瀬町大字十五)(10.0km) ⑤佐賀福富道路(佐賀市嘉瀬町大字十五～杵島郡白石町福富)(10.5km) ⑥福富鹿島道路(杵島郡白石町福富～杵島郡白石町深浦)(9km)	早期整備	①②③大牟田市新港町～大川市大野島IC区間 (25.7/27.5)93.5% (一般部含む) (19.3/27.5)70.2% (自専部のみ)	①②③大牟田市新港町～大川市大野島IC区間 (25.7/27.5)93.5% (一般部含む) (19.3/27.5)70.2% (自専部のみ)	①②③大牟田市新港町～大川市大野島IC区間 (25.7/27.5)93.5% (一般部含む) (19.3/27.5)70.2% (自専部のみ)	*進捗率は、大牟田市新港町～大川市大野島IC区間で、供用延長によるもの。 *H24年9月9日に大和南IC～徳益IC間の自専部が暫定2車線にて開通。 *H25年度は、平成26年3月25日に徳益～三橋IC間(一般部)の上下車線分離完成、平成25年9月25日に大牟田北IC～黒崎IC(自専部)の付加車線(L=1.8km)開通。 平成26年度は、平成26年9月6日に徳益～柳川西IC間(一般部)の上下車線分離完成予定。
3. 一般国道							
④ 国道3号黒崎バイパス	北九州	八幡東区西本町～八幡西区陣原(全長5.8km)	整備促進	未発表	未発表	未発表	*国道3号線黒崎バイパス建設促進期成会にて毎年要望 *H24年9月30日 前田ランプ～都市高速接続 *路線変更(春の町ランプ～中央町ランプ間の廃止)
⑤ 国道3号鳥栖久留米道路	県南7会議所	国道3号鳥栖久留米道路(4.5Km)	早期整備	0%	0%	0%	*進捗率は鳥栖久留米道路の供用延長によるもの *H19年度事業化、H26年度は、筑後川橋(仮称)上部工の着工、宮ノ陣地区の改良工事や西鉄甘木線の跨線橋下部工工事に着手予定。
⑥ 国道10号バイパス	北九州、豊前、行橋、菊田	豊前市大字高田～県境(5.9Km)	整備促進	91.5%	91.5% 道路詳細設計 唐原橋上部工 新山国大橋河川協議	91.5% 新山国大橋 関係機関協議	*進捗率は供用延長ベースにて算出 *H24年度供用区間 大池公園入口交差点～唐原交差点(4/4)L=1.0km供用済 (平成24年度末時点・・・L=5.4km供用済) *H24年度補正予算・・・道路詳細設計、唐原橋上部工
⑦ 国道201号(北九州空港へのアクセス道路)	北九州、田川、豊前、行橋、菊田	香春町～仲哀トンネル間の4車線化(2.1Km)	早期整備	道路詳細設計、用地買収着手	道路詳細設計、用地買収	橋梁詳細設計 用地買収	*H24年度補正予算・・・道路詳細設計、用地買収
		仲哀トンネル改良(旧トンネルの再供用)(2.2Km)		—	—	—	
		行橋IC～国道10号間4車線化(4.5Km)		全線の改良・橋梁工事推進	の橋梁・舗装工事推進暫定2車線	側道舗装工事	
⑧ 国道201号八木山バイパス並びに飯塚庄内田川バイパス	筑豊7会議所	八木山バイパス(有料道路 篠栗町篠栗～飯塚市弁分13.5km)の4車線化	早期整備	0%	0%	0%	平成26年10月1日より一般国道、無料化
		国道201号飯塚庄内田川バイパス(飯塚市弁分～田川市大字弓削9.7キロ)の4車線化		25.7%	37.1%	51.5%	
⑨ 国道210号浮羽バイパス	県南7会議所	国道210号浮羽バイパス(14.0km)	早期整備	83%	(12.9km/14.0km)92%	(12.9km/14.0km)92%	*進捗率は、浮羽バイパスの供用延長によるもの *H25.12.7 田主丸の1.3km開通(残り1.1km)
⑩⑪ 国道322号バイパス (八丁峠道路、トンネル)	県南7会議所	国道322号甘木大刀洗バイパス(3.3Km)	早期整備	(1.5km/3.3km) 45%	(1.5km/3.3km) 45%		*現時点での目標はH27年度完成
	筑豊7会議所 久留米、朝倉	八丁峠トンネル		*用地買収完了 *トンネル工事発注(嘉麻市側) (総工事11～12%) 朝倉側、改良工事着手(総工事9～10%)	*環境調査 *トンネル設備設計 *トンネル工事推進(嘉麻市側) *改良工事着手(朝倉市側) (総工事23～24%)	*水文調査予定 *環境調査予定 *トンネル工事推進予定(嘉麻市側) *トンネル工事発注予定(朝倉側) *改良工事推進予定(朝倉側) (総工事32～33%)	【H26年6月30日現在】 *トンネル掘削中(嘉麻市側) *改良工事実施中(朝倉市側) H26年度事業費による進捗率(朝倉市側)
⑫ 国道385号三橋大川バイパス	県南7会議所	柳川市三橋町柳川～大川市大字下木佐木(3.86km)	早期整備	95.5%	97.0%	100%	*事業費による進捗率
⑬ 九州縦貫自動車道「みやま柳川IC」への国道443号(山川バイパス)	県南7会議所	(山川バイパス)：みやま市山川町清水～山川町甲田区間(4.3km)	早期整備	90.4%	95.2%	100%	*事業費による進捗率

要望道路	提案会議所	要望箇所(区間)	要望内容	工事進捗率%(進捗状況)			備 考
				24年度	25年度	26年度(見込み)	
4. 主要地方道							
⑭ 福岡直方線	筑豊7会議所	直方・博多区間の内、宮若市と直方市間の4車線化(全長5.2Km)	事業促進	0%	0%	0%	・本路線のうち宮若市長井鶴の約1.1kmの区間(宮若市芹田～龍徳)迄の約5.2kmのバイパスが全線供用⇒全線4車線は未定
⑮ 飯塚福岡線	筑豊7会議所	飯塚・福津間の内、宮若市と飯塚市間の4車線化(18.73Km)	事業促進	21.9%	21.9%		飯塚市川島～幸袋間橋梁等工事中
⑯ 北九州・若宮幹線道路(仮称)	筑豊7会議所	若宮ICと小瀬IC間(幹線道新設)	整備促進	—	—	—	
⑰ 南関大牟田北線	県南7会議所	大字岩本(新幹線大牟田駅周辺)～大字四ヶ道の駅近辺)区間(4Km)			—	—	
⑱ 大牟田高田線バイパス	県南7会議所	①大牟田市大字宮崎～大字岩本区間(新幹線大牟田駅近辺)区間(4Km)	早期整備	46.7%	57.3%	57.3%	進捗率は供用延長による
		②大字岩本～大字三池区間(ルート未定)			—	—	
		③大字三池～大字樺野(茶屋の原)区間 I期II期(2.4Km)		80.5%	86.1%	100%	・事業費による進捗率
⑲ 大牟田川副線バイパス	県南7会議所	沖端川工区(1.33km)	早期整備	20.3%	34.7%	45.2%	・事業費による進捗率
⑳ 県道28号直方行橋線	北九州、行橋、苅田、宮若、直方	未開通区間	早期開通	0%	0%	0%	・用地買収中 行橋側は、東九州道・201号バイパスに合わせ工事を予定
5. その他(市道等)							
㉑ 都市計画道路6号線(門司区新門司三丁目～小倉南区大字朽網)	北九州	門司区新門司3丁目～小倉南区大字朽網(L=7,500m、W=25～36m)	早期整備	1%	7%	10.0%	・詳細設計、用地買収、環境事後調査計画の検討
㉒ 都市計画道路戸畑枝光線(旧戸畑大谷線)	北九州	八幡東区東田5丁目～戸畑区牧山海岸(L=2,730m、W=18m)	早期整備	13.8%	20.4%	34.0%	・設計、用地買収、工事等実施
㉓ 筑後川堤防道路の整備促進(国道、県道、市道)	県南7会議所	①県道坂口藤吉線と地方道久留米城島大川線を結ぶ橋の建設 ②久留米市小森野と鳥栖市下野町を結ぶ橋の建設 ※その他不連続区間に於ける堤防道路の新設及び既設道路の拡幅整備等	早期整備	—	—	—	・筑後川堤防道路整備促進期成会により継続的に要望活動中

道路要望に関する要望箇所(区間)地図



福岡県商工会議所連合会 名簿

会 長	福岡商工会議所	会 頭	末 吉 紀 雄
副会長	北九州商工会議所	会 頭	利 島 康 司
副会長	久留米商工会議所	会 頭	本 村 康 人
副会長	大牟田商工会議所	会 頭	板 床 定 男
副会長	飯塚商工会議所	会 頭	麻 生 泰
副会長	苅田商工会議所	会 頭	三 原 晴 正
副会長	大川商工会議所	会 頭	津 村 洋一郎
副会長	嘉麻商工会議所	会 頭	松 岡 光 昭
副会長	宮若商工会議所	会 頭	高 井 司
会 員	直方商工会議所	会 頭	永 冨 政 英
会 員	八女商工会議所	会 頭	山 口 隆 一
会 員	柳川商工会議所	会 頭	荻 島 清
会 員	行橋商工会議所	会 頭	宮 西 健 司
会 員	豊前川崎商工会議所	会 頭	林 竹 市
会 員	筑後商工会議所	会 頭	玉 木 康 裕
会 員	中間商工会議所	会 頭	林 聖 邦
監 事	田川商工会議所	会 頭	佐 渡 文 夫
監 事	豊前商工会議所	会 頭	秋 吉 直 人
監 事	朝倉商工会議所	会 頭	小 川 哲 彦

(平成26年12月1日現在)